

ワタキューグループ
こころレポート
CSR & Corporate Report

2011-2012

ワタキューグループ140年の歩み

1872

(明治5)年

ワタキューの前身
村田製綿所を創設

村田久七が
京都府綴喜郡井手町に
ワタキューセイモア株式会社の
前身・村田製綿所を創設。



現在の本社
ほど近くにある旧本社

1950(昭和25)年

社員20名で綿久製綿株式会社を設立

村田清次を社長とし村田製綿所を改組、
資本金100万円社員20名で
綿久製綿株式会社を設立。
ふとん綿の製造を主体に関西、
北海道地区で販売を行う。



1951(昭和26)年当時
綿の出荷量を伸ばしていく

1972(昭和47)年

日清医療食品株式会社を設立

医療食の販売を開始し、1986(昭和61)年
病院給食の外部受託が認可され
給食受託事業を開始する。



医療・福祉施設向け
給食の受託事業

1961(昭和36)~1962(昭和37)年

第二の創業。綿久寝具株式会社を設立

寝具と洗濯を病院へ一括して提供するビジネスモデルを
模索し、1962年に実現。病院基準寝具業者となる。
同年7月17日に綿久寝具株式会社を設立し、全国へ
営業展開を開始。その後、東京工場の白衣リース事業を
皮切りに患者衣、おむつリースなどを展開し、
総合リネンサプライ企業へと進化していく。



1962(昭和37)年。本社での記念撮影

1973(昭和48)年

綿久リネン株式会社を設立

中国地区で始まったホテルリネンサービスの
全国展開を機にホテルリネンサプライ部門を
独立させる。



1987(昭和62)年

独自の売店「HOW SHOP」を開始

開始後3年間で123店舗に拡大。
現在はコンビニなども運営し、
約500店舗を展開。



院内売店代行システム・HOW SHOP



2001 (平成13)年
福祉用具のレンタル・
販売事業を分社化し、
株式会社ハートウェルを設立

薬局事業を再編し
株式会社フロンティアと改名

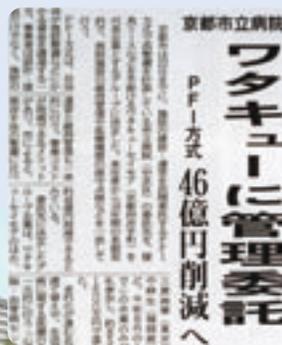


2002 (平成14)年
医療関連サービスの
コーディネート業務を行う
株式会社セイモアを設立



2009 (平成21)年
SPC京都を設立

京都市立病院整備事業の
受託に伴い特別目的会社
「株式会社SPC京都」を
設立する。



2000 (平成12)年
株式会社メディカル・
プラネットを設立

医療・福祉関連業界に
特化した、人材の紹介・
派遣事業を開始。

2010 (平成22)年
古久根建設がグループの一員に

古久根建設株式会社が
グループの一員となり、
医療・福祉施設の設計・施工から
総合請負管理まで一貫した
サービスを行う体制が構築された。



1992 (平成4)年
薬局事業に着手

ワタキューセイモアに社名を変更
CI導入により社名を
ワタキューセイモア株式会社に変更。

1990 (平成2)年
福祉用具のレンタル・
販売事業に着手

メディポートシステム株式会社を設立し、
医療用廃棄物処理管理業務に着手

2012 (平成24)年
創業140周年を迎える
ワタキューグループ
より信頼される企業をめざして



読者の皆さまへ

ワタキューグループは2012年に創業140周年を迎えます。この節目の年を前に、社是「心」にちなんで、私たちのCSR報告書と会社案内を一つにして「こころレポート」と名付けました。

「ワタキューグループ基本方針」を規範とする考え方や取り組みをわかりやすく報告するこのレポートは、皆さまからご意見をいただき企業活動に反映させるためのコミュニケーションツールでもあります。こころレポートの活用により皆さまとのさらなる信頼関係の構築・維持に努め、持続可能な社会の実現に貢献できる企業グループを目指します。

編集方針

「ワタキューグループ基本方針」に基づき、ステークホルダーごとの取り組みを報告する形で構成しています。

各章の基本的な考え方は不変であるため、2009年度版(2009年10月発行)の内容を引き続き掲載している部分があります。

※参考ガイドライン:

GRI「サステナビリティ レポーティング
ガイドライン」第3版

報告範囲

対象組織:ワタキューセイモア株式会社
(グループ企業の一部の取り組みを含みます)
対象期間:2009年7月1日から2011年6月30日
(対象期間外の情報はその都度表記)
発行時期:2011年11月(次回2013年11月/
前回2009年10月)
詳細な情報は、弊社のホームページ
<http://www.watakyu.co.jp/>
または総合カタログをご覧ください。

お問い合わせ先:

ワタキューセイモア株式会社
広報室
e-mail:kouhou@watakyu.co.jp
CSR推進実行委員会
e-mail:csr@watakyu.co.jp

INDEX

読者の皆さまへ／編集方針／報告範囲	2
ワタキューグループ140年の歩み	3
お客さまへのサービス	6
ワタキューグループの包括委託サービス(セイモアシステム)	8
ワタキューグループの事業活動の概要	10
メンテナンス付きリース(リネンサプライ)／管理・請負業務／ アメニティ／給食業務／総合人材サービス／設計・施工・コンサルティング	
ワタキューグループのCSR	14
ワタキューセイモア行動憲章	
お客さまとともに	16
ISO9001:2008を取得／お客さまアンケートの実施／ バックアップ体制の構築／東日本大震災発生時の対応	
地球とともに	18
執行役員メッセージ	
工場での取り組み	
北九州工場 他	
ワタキューグループの環境活動	
京都モデルフォレスト運動／ハイブリッド車／オカパック／ ベッド通い箱／メタロセン・フィルム	
地域社会とともに	22
ワタキューセイモア女子ソフトテニス部	
ワタキューグループの社会貢献活動	
富士山クリーン活動／ボランティアウォーク／ 柿もぎボランティア／朝里ダム植樹／ワタキューキングダーハイム／ ベトナムでの診療所建設／Jリーグ柏レイソルのサポート／ カンボジアからの研修生受け入れ／車椅子テニス選手のサポート	
社員とともに	28
ワタキューグループ研修センター 一心館	
快適な職場環境づくり	
育児や介護のための環境整備／高齢者・障がい者雇用／ 労働安全衛生	
CSR経営	32
コーポレートガバナンス体制／内部統制システム／ リスクマネジメント体制／コンプライアンス体制／ 情報セキュリティ体制	
事業所一覧	34
ワタキューセイモア 組織図	36
ワタキューセイモア 財務データ	
社長メッセージ	37

2012年に創業140周年へ。 明治5年から続く製綿所から ワタキューグループは 始まりました。

ワタキューグループは2012(平成24)年に創業140周年、設立50周年を迎えます。

弊社の歩みは、江戸時代が終わりを告げて年号が明治と改められ、文明開化の進む1872(明治5)年に村田久七が京都府綴喜郡井手町に村田製綿所を創設したことが始まりでした。

戦中戦後の混乱期を経た1950(昭和25)年、久七の孫に当たる村田清次が村田製綿所を改組し綿久製綿株式会社を設立、綿の製造を主体にしながら、販売にも力を注いでいきます。

昭和30年代には原綿の暴落、売上不振、不渡りなどで、倒産の危機に追い込まれた時期もありましたが、旧厚生省の保険制度改革が進む中、1961(昭和36)年に後の中核事業となる「病院基準寝具」へと乗り出し、1962(昭和37)年7月17日綿久寝具株式会社を設立。

以来、社会環境の変化にあわせて、医療・介護・福祉・シルバー・薬局・給食・食材・包括委託サービスなど、医療を取り巻く周辺事業を展開し、現在グループ企業47社、社員約73,000名の企業体へと進化を遂げてきました。

そして2010(平成22)年、グループに古久根建設株式会社を新たに迎え入れ、施設の設計・施工から運営管理サポートまで一貫してお客さまに提供できる体制としました。

これからも、持続可能な社会の実現に貢献できる企業グループとして、さらなる飛躍発展を目指します。



必要とされる職場に必要なサービスを 医療・福祉・健康・レジャーの分野を専門

日々の仕事を通じて、心がふれあうおつきあいを。

そんな想いを胸に、全国で約73,000名のスタッフが持てる能力をフルに生かして、活動しています。

一つひとつのサービスにこめられているのは、ワタキューグループの社は「心」です。

【社は】



書 杭迫 柏樹

【ワタキューグループの基本方針】

私達は創業時の原点にたち選り

- お客様には仕事をさせて頂いている
- 仕入先には売って頂いている
- 協力企業の方々には仕事をして頂いている
- 会社のみなさんには働いて頂いている

という感謝の気持ちと謙虚な姿勢で

何事にも接する社風を醸成するとともに、誰もが思いやりの心を持ち、互いに協力し、人に誇れる立派な会社に勤めて良かったと思えるグループにする。

以上を礎としてワタキューグループの強固な石垣を構築するため社是を「心」とする。

【ワタキューグループの経営理念】

我々は企業の存在理由は

社会貢献にある事を基礎とし
企業を通じてすべての人びとの健康と豊かな生活に寄与するべく
技術機能を発揮し顧客の要望に誠意をもって応え
最高の品質サービスの提供を続け信頼を得て
永遠に会社の発展を目指す
創業時の原点にかえり時代の変化に対応しつつ
たゆまぬ努力と活動をもって
経営基盤の確立と拡大を推進し
社会に報いると共に
全従業員の生活向上安定を計る事を理想とする

能力と総合力でサポートします



お客さまへのサービス

お客さまのために……。ワタキューグループは、医療・福祉・健康・レジャー分野のアウトソーシング事業を、全国規模で展開しています。

- 医療機関、福祉施設向けリネンサプライ
- リネン管理業務
- 洗濯管理業務
- 総合物品管理業務
- 中央材料室業務
- 医療・福祉施設の設計・施工・運営コンサルティング事業
- 手術室補助業務
- 清掃業務
- 設備管理・保守管理業務
- 感染性廃棄物処理管理業務
- 備品・消耗品などの販売業務
- 売店・喫茶運営
- 給食事業
- 院外調剤薬局事業
- 医事関連業務
- 医療・福祉系人材紹介・派遣業務
- 在宅用福祉用具のレンタル・販売事業
- 医療関連サービスのトータルコーディネート業務
- ホテル・レストラン向けリネンサプライ



ワタキューグループの
アウトソーシング

医療・福祉施設をあらゆる角度からサポートします

医療・介護現場における多様なサポート業務。それらすべてをワタキューグループが一括してお引き受けすることで、高品質で安定したサービスを継続して提供できます。

ワタキューグループは、医療・福祉を中心にしたサービスの提供を通して、豊かな社会の実現に貢献します。

ワタキューグループの包括委託サービス (セイモアシステム)



さまざまな業務をそれぞれ管理するのはロスが多い。



多様な業務をコーディネートし、
お客さまに合ったサービスをお届けします。

セイモアシステム

一括発注することで
あらゆる悩みを一括解消

システムの特長

- 窓口の一本化により契約・支払い等の事務作業を軽減
- 複数業務委託により人材の横断と連携による効率的な人員配置を実現
- 継続的な業務改善によりサービス品質を維持・向上

病院さま・施設さまの運営に貢献

セイモアシステムを支える 主なグループ企業

ワタキューセイモア株式会社

【医療・福祉向けリネンサプライ・総合アウトソーシング・備品等販売事業】

清潔なリネン類の供給および物品管理から清掃まで総合的な管理業務の請負、物品販売による多角的なサービスを提供しています。

日清医療食品株式会社

【給食受託／医療用食品の販売】

「食」をテーマに医療・福祉施設さままでのアメニティサービスをサポートしています。

株式会社メディカル・プラネット

【医療業界人材派遣・紹介・請負事業】

医療・福祉業界に特化した総合人材サービスを提供しています。

株式会社セイモア

【医療関連サービスのトータルコーディネート業務】

患者さまにとってかけがえのない病院さまに、質の高いサービスを継続的に提供しています。

古久根建設株式会社

【医療・福祉施設の設計・施工・運営コンサルティング】

設計と施工を行うことで、グループ内において医療・福祉分野全般のサービスが完結できるようになりました。

ワタキューグループの事業活動の概要

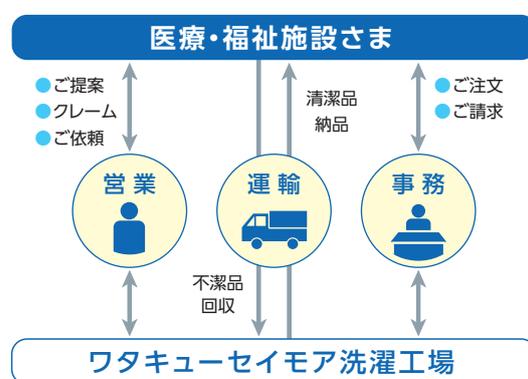
メンテナンス付きリース（リネンサプライ）

看護や介護の現場で欠かせない数々のリネン類を供給
回収から洗濯・消毒・補修まで

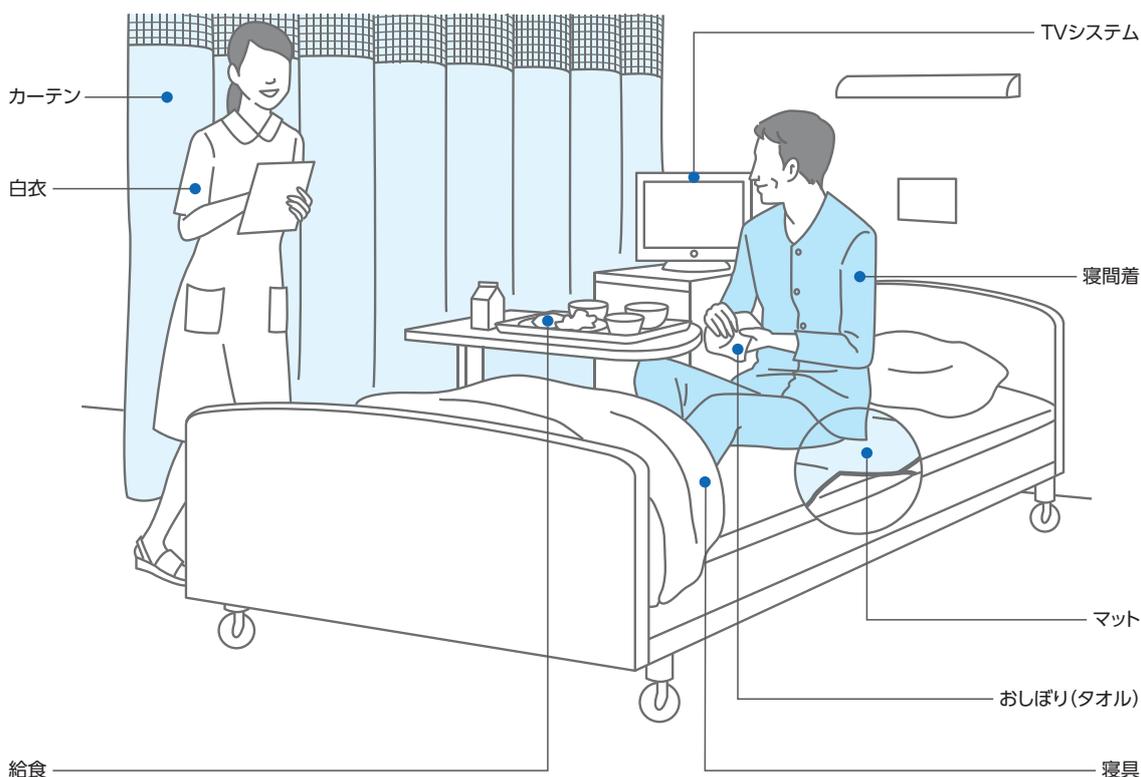
清潔で心地よい寝具やウェアをお届け

患者さまには快適な療養環境で過ごしていただくために、職員さまには気持ちよく働いていただくために——寝具やウェアの心地よさに最大限の配慮。素材・デザインに工夫を凝らし、良質な肌触りや適度な通気性、優れた使用感を実現しました。ご使用後のリネンは定期的に回収し、洗濯・消毒・仕上げ・補修までを入念に行い、いつも清潔なリネンをお届けします。衛生基準に基づいたクリーニングにより、施設内の院内感染予防にも貢献します。

●リースシステムフロー



●病室での主な取扱い内容



管理・請負業務

医療施設や福祉施設などで必要とされる さまざまな業務の管理を代行

中央材料室業務



使用済み器械の
洗浄・点検・滅菌。
滅菌済み器械の
供給業務

ベッドメイク



シーツ・包布・枕
カバーなどの定
期交換および、
退院・退所時の
交換

手術室補助業務



術後清掃、手術
器具洗浄、セット
組みなど幅広い
業務を代行

洗濯管理業務



院内・施設内で
の洗濯請負業務

総合物品管理業務



診療材料などさ
まざまな物品の
一元管理

設備管理・保守管理業務



建物設備を総合
的に管理・運営

清掃業務



院内感染防止対
策を基本とした清
掃業務

感染性廃棄物処理管理業務



特許取得の追跡
管理システムによ
る廃棄物処理管
理業務

アメニティ

施設利用の皆さま、職員の皆さまのニーズに応じた さまざまなアメニティサービスを提供します

ニーズに応じた売店・喫茶店運営

全国約 500 店舗の院内売店で培ったノウハウを生かし、お客さまのニーズに応じた最適な売店・喫茶店運営を行っています。院内売店で 20 年超の実績をもつ「HOW SHOP」、コンビニエンスストア大手の「ファミリーマート」、医療雑貨などの品揃えも対応可能なヤマザキ製パンの「Y ショップ」、上質なコーヒーと心地よい空間を提供する「ドトールコーヒー」のラインアップが揃っています。



HOW SHOP の車椅子用カウンター

急な入院・入居の際にも安心の入院セット

入院や入居の際に必要なタオルや肌着、寝間着など、患者さま、利用者さまのさまざまなニーズにお応えします。

【組み合わせ例】



バスタオル、フェイスタオル、おしぼり、寝間着、肌着

給食業務

よろこばれる献立作成から調理、スタッフマネジメントまで 安全・安心な食を提供します

仕入れ検討時も、仕入れ後も厳格に

仕入れを検討している商品は、商品情報、トレーサビリティ確認、工場監査および第三者機関による細菌検査、農薬残留検査等、また 2011 年 3 月 19 日からは放射能検査を行い、厳しい社内規準をクリアしたのみを仕入れています。仕入れ後も定期的にコンタクトし情報交換を行うほか、自主マニュアルに従い万全を期した衛生管理を実施。全国約 150 名の衛生委員が 3 か月ごとに各施設を巡回して衛生管理の維持と改善を図っています。

1 年 365 日、感動があるおいしさを

おいしさにこだわり、栄養バランスを計算し、召しあがる方の状態に配慮したレシピで、飽きのこないバリエーション豊富なメニューをご提案します。腎臓食・高脂血症食・肝臓食・糖尿病食などの治療食。咀嚼や嚥下が困難な方に食べる喜びを復活させるムース食。術後や重病で通常の食事ができない方のための濃厚流動食。食べやすさと味付けに一工夫した高齢者向けメニューなどをラインアップしています。

総合人材サービス

医療系有資格者・医療関連職種における人材の紹介・派遣や 医事関連業務のオールラウンドな受託を行います

「真に業務に専念できる環境づくり」を提案

医師、看護師、薬剤師など、医療・福祉系有資格者の紹介・派遣事業を行っています。そのほか、病院受付業務、医事電算業務、病歴管理業務、料金徴収業務、クラーク業務などを受託。医事関連業務を総合的、専門的にサポートします。

業務に従事する社員に対しては社内研修の充実に力を入れ、多角的なブラッシュアップを継続的にを行い、医療スタッフが本来業務に専念できる環境づくりをトータルでご提案します。



医事関連業務に高品質な人材力で応える

設計・施工・コンサルティング

さらに質の高い医療、介護へ 建築物と運営システムの双方からトータルプランニング

建物の設計・施工から各種業務まで

時代に対応した医療・福祉の施設づくり。ソーシャルモデル（生活重視型）を特徴とした設計と施工監理をトータルに行います。現地調査や行政調査、整備計画や資金計画、収支計画などの事業計画作成。補助金申請から指定申請など行政への各種代行業務。多岐にわたる社内規定、契約書類の作成。福祉医療機構への申請代行など、施設立ち上げに不可欠な業務のコンサルティングも行います。

また総合建設業の強みを生かし、建築物のあらゆるご相談に対応します。



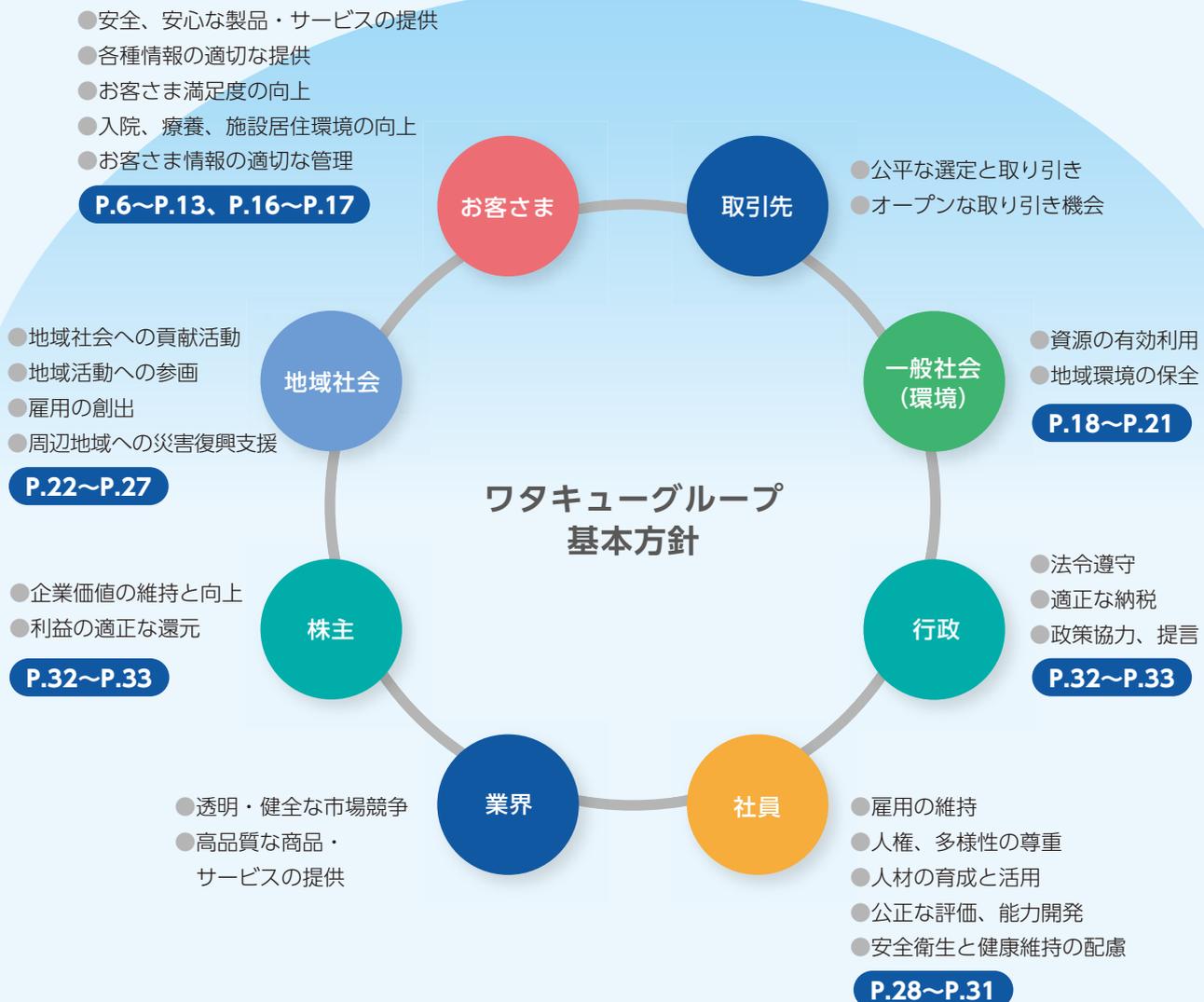
施設的设计・施工から立ち上げコンサルティングまで

オンリーワン企業として、
地球、地域、職場それぞれの
環境向上に貢献します。

企業活動を通じて社会に貢献すること——
ワタキューグループの基本方針である感謝
の気持ちと謙虚な姿勢をもって、身近な
環境から地球全体の環境まで、社員一人
ひとりが考え、行動し、医療と福祉に携わ
る企業として、持続可能な社会の実現に
寄与していきます。

持続可能な社会への貢献

企業価値の向上



ワタキューセイモア行動憲章 | ワタキューセイモア株式会社

私たちは自らの企業使命を自覚し、お客さま、お取引先、役員・社員、業界、行政、地域社会、一般社会などのステークホルダーに対して、以下の行動憲章を定めこれを遵守することを宣言します。

お客さまに対する姿勢

- 私たちは、常にお客さまの視点からの事業を創造し、お客さまの立場で仕事に取り組んでいきます。
- 私たちは、私たちの商品・サービスを利用してくださる方々へ安全と安心をお届けします。
- 私たちは、お客さまのプライバシーを厳守します。

取引先に対する姿勢

- 私たちは、お取引先を大切なパートナーとして尊重します。
- 私たちは、お取引先との契約に基づく対等な関係を維持します。
- 私たちは、公正で適正な取引を行います。

社員に対する姿勢

- 私たちは、性・年齢・役職・学歴等で分け隔てすることなくお互いを共に働く仲間として尊重します。
- 私たちは、いずれの職場にあっても会社と仕事に誇りをもち前向きに取り組みます。
- 私たちは、一人ひとりが担うべき事項について責任を果たします。

株主に対する姿勢

- 私たちは、積極的に情報を開示して、透明性の高い経営を目指します。
- 私たちは、事業活動を通じて健全な利益を生み出します。
- 私たちは、企業活動の説明責任を負い、その理解を促進します。

業界に対する姿勢

- 私たちは、自由で透明、健全な市場競争を行います。
- 私たちは、他社の正当な権利・財産を尊重し、自社の正当な権利・財産の保護に努めます。
- 私たちは、高品質の商品・サービスを提供し、その必要性和利便性を訴求します。

行政に対する姿勢

- 私たちは、関係法令の遵守および社会的な良識を備えた企業活動を進めます。
- 私たちは、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力とは、一切の関係を遮断します。
- 私たちは、適正な会計基準に則り、会計報告に虚偽等がないように努めます。

地域社会に対する姿勢

- 私たちは、その地域社会の文化や規範を尊重し、地域の発展に貢献します。
- 私たちは、地域社会の一員として、地域行事等に参加します。

一般社会に対する姿勢

- 私たちは、社員一人ひとりが社会貢献を考え行動します。
- 私たちは、身近にある環境問題に対応し行動します。
- 私たちは、循環型社会に適応した備品等を利用し、資源の保護に努めます。

お客さまとともに

安全・安心・快適な
サービスを提供する

全国規模で展開する 医療・福祉サービスの 品質維持・向上に 努めています

医療・福祉・健康・レジャー分野のサービスを全国規模で展開するワタキューグループでは、社会インフラの一端を担う企業として、お客さまに提供するサービスの維持・向上に日々、努めています。

全事業所でISO9001:2008 を取得 作業を標準化し、安全なサービスを継続して提供

2009年10月、リネンのクリーニング工程を担う洗濯工場は、国際標準化機構の品質マネジメントシステムに関する規格「ISO9001:2008」の認証を全社レベルで取得しました。

作業の各工程は、標準作業書をもとに合理化・標準化を徹底。衛生管理面では、洗濯前と仕上げ工程以降とのエリアを完全に分離。また、一般細菌数や大腸菌群、黄色ブドウ球菌などの微生物に対する衛生自主基準を設けて細菌検査を実施しています。

さらにICタグや二次元コードを白衣に取り付け、所在や洗濯回数の情報を個別管理するシステムの導入も始めています。

お客さまアンケートを毎年実施 結果を分析し、 品質維持・向上に活用

弊社の提供するサービス・業務についてのアンケートを定期的実施し、お客さまにどのように受け止められているのかを分析して、さらなるサービスの向上に努めています。

●お客さまアンケート

最新の顧客アンケート結果の概要

実施年月：2010年12月
アンケート発送数：1,612通
有効回答数：899通（回答率55.8%）

【評価の高かった項目】

1. 営業担当者の服装・言葉遣い
2. 事務社員の電話対応・言葉遣い
3. 紙おむつの品揃え・性能

【前回と比較して、評価の改善率が高かった項目】

1. 医療・介護・弊社グループ業務に関する情報提供
2. 営業担当者の服装・言葉遣い
3. 紙おむつの品揃え・性能

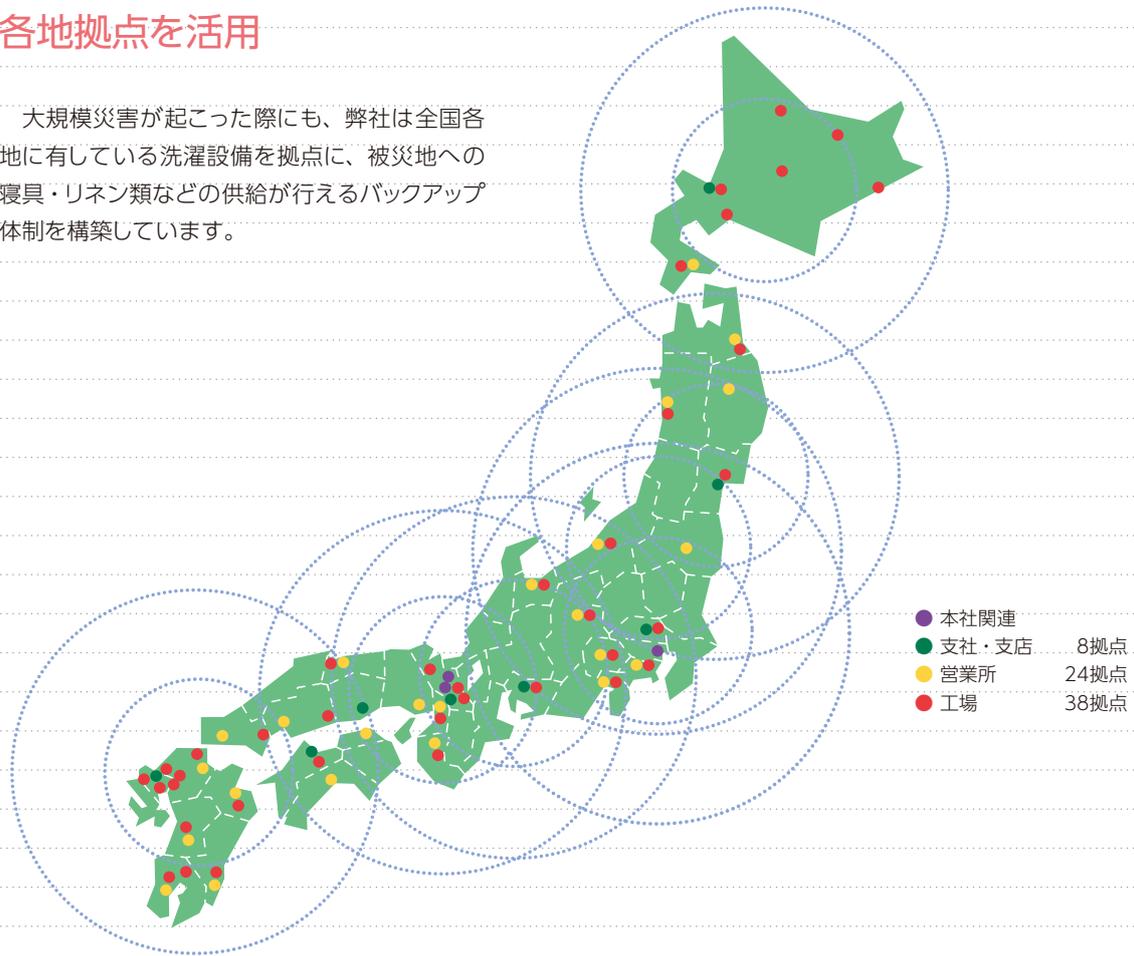
【今後、さらなる改善が必要な項目】

1. リネンサプライ製品の数量・品質
2. 売店の品揃え
3. 販売商品のアフターフォロー

大規模災害に 各地拠点を活用

●全国に広がるバックアップ体制

大規模災害が起こった際にも、弊社は全国各地に有している洗濯設備を拠点に、被災地への寝具・リネン類などの供給が行えるバックアップ体制を構築しています。



ご報告

東日本大震災発生時における ワタキューグループの対応

2011年3月11日に発生した東日本大震災の際には、速やかに震災対策本部を設置し、社員の安否確認、お客さまの状況確認と全国規模のバックアップ体制を敷き、被災からの早期復興支援に努めました。

ワタキューセイモアでは新潟を全国からの物流・洗濯の中継拠点とし被災地へのピストン運送を行う一方で函館からはフェリーにて物資の供給を行いました。



全国から物資を供給



被災地での炊き出し



キッチンカーを出動

地球とともに

社会の一員として
環境への責任を果たす

未来の地球を守るため、 今できることに 全力で取り組んでいます

地球環境を未来に引き継いでいくため、
環境保全活動を重要な取り組み事項と位置づけ、
グループを挙げた継続的な活動に取り組んでいます。

水資源やエネルギーの循環型利用を推進

わが国におけるCO₂削減の大きな柱であった原子力発電の推進は、3月11日に発生した東日本大震災を境に急激な方針転換がなされました。私たちはエネルギーの必要性と安全性について、常に両立されるものではないことを思い知らされ、その結果、従来のライフスタイルの維持やさらなる利便性の追求には、疑問が投げかけられることになりました。

化石燃料や電力、水資源を使用する弊社のリネンサプライ事業においても、大きな転換期を迎えています。洗浄や消毒、乾燥や仕上げの各工程において、新たな使用原単位への挑戦が必要となっているのです。

そのため今後の優先的な経営課題として、新しい発想や工夫とともに水資源やエネルギーの徹底した循環型利用を積極的に取り入れるなど、全社レベルで持続可能な環境負荷軽減に配慮した工程改善に取り組んでいきたいと考えています。



執行役員 生産本部長
石田 孝一

TOPIC

全社レベルの省エネ推進へ、キックオフ

2010年10月、弊社では各地区の生産部門(リネン洗濯工場)責任者と本部の生産部門スタッフを中心に「省エネルギー推進 中長期計画」を策定しました。生産部門など定量的な記載が可能(省エネルギーの目標数値設定および実際の数値測定が可能)な計画と、請負業務現場・売店・事務所など、定量的な記載が難しい計画に分けたものです。

2010年4月施行の「改正省エネ法」による(一定以上のエネルギーを使用する)特定事業者指定を受け、同年12月に省エネルギー推進の社内組織を正式に決定・構築。翌年1月には「エネルギー管理標準」作成のキックオフを宣言しました。エネルギーの管理統括者と企画推進者、各地区のエネルギー管理者が定期的に打ち合わせをしながら情報共有し、施設ごとの現状に合致した省エネルギー推進に取り組んでいます。

●設備投資を伴うエネルギー削減 中長期計画

年度	エネルギーの使用合理化期待効果		
	電気 (千kWh/年)	重油・ガス (Kℓ/年・千t/年)	原油換算 (Kℓ/年)
平成22年度計	120.6	541.2	653.6
平成23年度計	179.8	261.0	329.3
平成24年度計	93.0	120.7	152.2
平成25年度計	131.0	262.0	316.7
平成26年度計		53.0	55.3
平成27年度計		30.0	30.3
計	524.4	1,267.9	1,537.4

環境負荷軽減のために

工場での取り組み

詳しくは…

弊社ホームページのCSRサイトをご覧ください
www.watakyu.co.jp/csr/index.html

工場の屋根に設置したソーラー発電パネル、洗濯後の排水・乾燥の際に生じる余熱等の再利用、ハイブリッド照明の設置など、環境負荷を低減する諸設備を、グループ各工場に順次導入していきます。

北九州工場は、 ソーラーパネルの設置など、 CO₂削減に取り組みます

北九州工場では、屋根に最大出力51.0kW（発電量は年間約48,343kWh）のソーラー発電パネル、駐車場の周りにはハイブリッド照明を設置。建物内の照明は、ひもを引いて作動するプルスイッチを採用しています。工場のある北九州市八幡東区は、資源エネルギー庁の「次世代エネルギー・社会システム実証」を行う国内4地域の一つであり、環境負荷の低減に弊社も貢献しています。



工場の屋根にはソーラー発電パネル。屋根の形状も工夫して、風を取り入れやすく抜けやすい設計に

外灯のハイブリッド照明

【北九州工場の概要】

敷地面積：約16,587m²（総延床面積約6,900m²）／生産品目：寝具・患者衣・ユニホーム・術衣・タオルなど／工場生産量：約19t/日（病院リネン 約18,000 床分）／敷地内設備：病院寝具工場、ホテルリネン工場、管理棟（1階 事務所、2階 食堂）、タオル工場、マクラ作業所、污水处理施設、企業内託児所（29名まで受入可能）

各工場にEMSローターなどの 省エネルギー設備の導入を 水平展開

太陽光発電パネルの設置やCO₂排出削減など、環境負荷を抑える諸設備を各工場に順次導入しています。とくに工場部門の省エネルギーの取り組みの一つとして、排水熱回収装置（EMSローター）の導入を進めています。これにより設置前より約20%の熱エネルギー量を削減できる計画です。



EMSローターは、洗濯排水からの余熱を回収してすすぎ用の水の温度を上げるのに使うシステム（小樽工場）

各社がそれぞれの立場でできることを

ワタキューグループの環境活動

社会の一員として地球環境を守るため、ワタキューグループではさまざまな環境活動を進めています。低公害車の導入、環境配慮型商品の提案、リサイクル商品の提供など、活動は多岐にわたります。

大正池の森林を守り、育てる「京都モデルフォレスト運動」

ワタキューセイモア

2008年9月から「京都モデルフォレスト運動」に参加し、森林保全支援活動の一環として本社近くの大正池にて間伐作業や下草刈りの活動を継続して行う協定を、京都府などと5者共同で結びました。毎回100名以上が参加し、社員の環境教育としても役立っています。

※モデルフォレスト運動：地域ぐるみで森を支える活動



社員の環境教育の場としても定着している大正池での活動

CO₂排出量の25%削減へ、社有車をハイブリッド車に

日清医療食品



環境省が進める「チャレンジ25キャンペーン」。CO₂排出量を25%削減するための行動提案に弊社も参加しています。25におよぶチャレンジ項目のうち、これまで2項目に挑戦。「SMART MOVE」では、社有車46台をハイブリッド車に入れ替えました。「朝チャレ!」では朝早くから活動し、夜はゆっくり休む新しいライフスタイルを実践しています。

今後さらにハイブリッド車へ移行しCO₂削減を目指す

詳しくは…

弊社ホームページのCSRサイトをご覧ください
www.watakyu.co.jp/csr/index.html

オカラからできた発泡緩衝材「オカパック」

ハートウェル



「オカパック」とは、小麦精製時に大量に廃棄処理される副産物からつくられた発泡緩衝材です。植物性原料のため、焼却しても有害物質を発生せず、静電気の心配もありません。レンタル商品の保護材として使用。商品返却時にあわせて回収し再利用しています。

月間回収量は、
「オカパック」約1,000～1,200袋

リサイクルでき、清拭・清掃にも適した「ベッド通い箱」

ハートウェル

「ベッド通い箱」とは、商品保護に使用するプラスチックダンボールケースです。紙製のダンボールより耐久性が高く繰り返し使用でき、清拭・清掃にも適しています。ベッドの各部材ごとに専用のサイズのケースに収納することで、保管や配送も大変スムーズになっています。



コンパクトに収納でき、
保管・配送にも便利

輸送負荷の軽減につながる「メタロセン・フィルム」

ハートウェル



「メタロセン・フィルム」とは、新しく採用した梱包袋です。一般的なポリエチレン袋と比べ、薄くて強い性質から、原材料の使用量を抑えることができ、結果としてゴミ収集や輸送負荷の軽減につながります。

また、ポリエチレン臭が少なく、溶出成分が少ないのも特長です。

強度に優れ、安全性も高い「メタロセン・フィルム」

地域社会と ともに

地域に根ざした
貢献活動を



ワタキューセイモア女子ソフトテニス部

1995年に京都・福知山で創部。2011年現在9名の選手が在籍。実業団チームとして国内の各試合に参戦し、2000年日本リーグ初優勝、09年にV4を果たす。



全日本実業団ソフトテニス選手権大会
(2011年7月岐阜)



同大会での
ダブルスの試合

地域社会への貢献 それはワタキューグループが 存在する証しです

企業は地域社会の皆さまとともに成り立つもの——
それが、私たちの大切にしている“心”です。
社会との共生をめざし、
社員一人ひとりが地域の一員として
地域に根ざした貢献活動を続けています。



ソフトテニスの魅力を伝える
ファッションブルなユニホーム



海外におけるソフトテニスの普及にも力を入れている



詳しくは…

女子ソフトテニス部のサイトをご覧ください
<http://www.sunlife-softtennis.com/>

国内トップクラスのソフトテニス部として普及支援、国際交流、次世代育成に貢献しています

日本リーグ・実業団選手権・国際大会などで活躍する

創部から16年を数えるワタキューセイモア女子ソフトテニス部は、国内最高峰の日本リーグ4度の制覇を始め全日本実業団選手権、多くの国際大会でも常に上位の成績をおさめる強豪です。2011年にローマで行われた大規模なカップ戦でもシングルス・ダブルスとも見事優勝を飾りました。

試合のみならず、ヨーロッパ各国やアジアを舞台に積極的な遠征・合宿を行っています。また、遠征先での大会や講習会、地元の方々との交流活動を通して、海外におけるソフトテニスの普及にも大きな役割を果たし、平成22年度には、日本ソフトテニス連盟から特別表彰(国際普及活動支援)を受けました。

大会開催から全国各地での講習会までソフトテニスで地域を盛り上げ、貢献する

京都府福知山市で行われる実業団チーム向けの「インターナショナルソフトテニスカーニバル」や高校生対象の「ジュニアソフトテニス大会」などもワタキューセイモアが共催しています。

また全国の中学校や高校に出向いての講習会では、ソフトテニスを通じた地域社会への貢献に積極的に取り組んでいます。各地で開催される大会では、社員の声援のもと熱戦が繰り広げられ、ソフトテニスの魅力や楽しさを存分にアピールしています。



2001年から毎年開催している「ジュニアソフトテニス大会」

Voice ワタキューセイモア女子ソフトテニス部



夢はワールドカップ、そしてオリンピック！ソフトテニスをメジャーにしていきます

私たちは試合の実績や遠征はもちろん、選手としてのよいマナー、さらにはファッションブルなユニホームを通じて、ソフトテニスの魅力を多くの方に伝え、よりメジャーにしていこうとがんばっています。夢はワールドカップ、オリンピック、さらにはプロフェッショナルとしての選手育成も視野に入れていき、なお一層努力して参りますので、応援よろしくお願いたします！

古賀 俊彦 監督

社員が参加しやすい環境づくりを

ワタキューグループの社会貢献活動

地域社会の皆さまとともに地域を支えていくこと。ワタキューグループの社員一人ひとりが地域のさまざまな活動に継続して参加しやすい環境づくりを進めていきます。

富士山のような日本一の会社に 新入社員研修にクリーン活動

ワタキューセイモア

弊社と富士山清掃との関わりは、2007年8月に「NPO法人 富士山クラブ」主催の活動に社員の有志が参加したことから始まりました。翌年には新入社員研修として19名が参加。2009年からは社内研修の一環として弊社単独でのクリーン活動を実施しています。同年は37名が参加し、洗濯機やタイヤなど1,210kgの廃棄物を回収。2010年は40名参加で620kgを回収しました。

雨の中での活動の様子



命の大切さを伝えるボランティアウォーク 社員の家族同士の交流も

ワタキューセイモア

あしなが育英会の遺児学生たちが中心となって開催するボランティア活動「あしながPウォーク10」。遺児への支援の輪を広げるために国内約70コース・各10kmを踏破するボランティアウォークです。2007年11月の京都コースに10名が参加。その後参加者は増え、2010年度は各地で計48名が参加しています。



2010年度は社長も参加

詳しくは…
 弊社ホームページのCSRサイトをご覧ください
www.watakyu.co.jp/csr/index.html

実が熟す前に収穫のお手伝い 1,000個以上の柿をもぎとりました

ワタキューセイモア

仙台市青葉区の大針地域では、晩秋から初冬にかけ、柿の実を目当てに里に下りてくるニホンザルの姿が見られます。住民に危害を加えることがないよう、2010年10月に仙台市環境局が中心となって柿もぎのボランティア活動を実施。柿の実が熟す前にとってしまう作戦です。東北支店の社員25名を含む計43名で、1,266個約380kgの柿を収穫することができました。



動物による被害から住民を守る



社員が参加した植樹祭の様子

洞爺湖サミットを記念した植樹祭 北海道支店がボランティア参加

ワタキューセイモア

2008年に開催された第34回主要国首脳会議（北海道洞爺湖サミット）を記念した3カ年計画の植樹祭に、北海道支店の社員約20名がボランティアで参加しました。植樹祭は北海道千年の森プロジェクトと小樽市の共催で、同市の朝里ダム湖畔園地にて実施。ミズナラやエゾヤマザクラなど20種類の広葉樹15,000本の苗木の植樹を、2010年までの3年間で完了しています。

仙台駅前の保育クラブ運営

ワタキューセイモア

駅型保育モデル事業として、1995年11月、仙台駅前に駅前保育クラブ「ワタキューキンダーハイム」を開園しました。2005年8月には、仙台市認定のせんだい保育室B型保育園として運営を開始。2011年4月からは認可保育園としても認められ、子供の個性と発達段階に応じた適切な教育を進めています。
 (2011年4月末現在：園児47名、職員19名、卒園児52名)



ターミナル駅前にある認可保育園を運営

※ B型保育室：小規模・家庭的保育園

質の高い医療サービスを ベトナムに診療所を建設

日清医療食品

国際NGOプラン・ジャパンに協力いただき、仙台支店栄養士会は、ベトナム北部にあるソンティンコミュニティ村への診療所建設プロジェクトへの支援を実施しました。

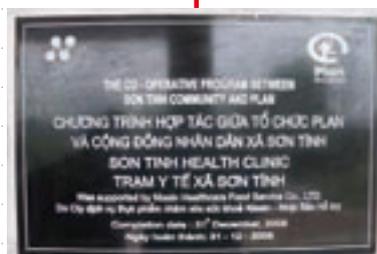
日清医療食品からの寄付金により、地域の人々からなるプロジェクト委員会メンバーを中心に、診療所スタッフや住民が積極的に参加。8部屋からなる診療所の建設、備品の支給、職員トレーニング、地域住民への衛生教育などが行われました。

施設の完成により、地域住民4,894名が質の高い医療サービスを受けられるようになりました。発症率の高かった感染症の減少、栄養失調にかかる乳幼児数の減少も期待されています。

診療所の所長からは、「新設された診療所は、器材や備品も整っており、やっとこの地域の人々は子供たちにきちんとした医療サービスを提供できるようになりました。ご支援いただき、本当にありがとうございました」との感謝の言葉もいただきました。



2009年に完成した診療所の外観。今回の支援に感謝して「日清医療食品」の名が入ったプレートが飾られている。



スポーツを介した地域貢献 Jリーグ 柏レイソルとスポンサー契約

日清医療食品

2011年2月、日清医療食品は、同子会社の日清クリエイトが食事サポートを行ってきた柏レイソル（日立製作所 プロサッカーチーム）と、スポンサー契約を結びました。これにともない、千葉県柏市にある柏レイソルのホームグラウンド・日立柏サッカー場に、日清医療食品の看板が設置されました。



地域に根差したスポーツクラブづくりを進めているJリーグの一員である柏レイソルのサポートを通じて、スポーツを介した地域の発展に貢献していきます。

©1996 H.K.REYSOL

詳しくは…
 弊社ホームページのCSRサイトをご覧ください
www.watakyu.co.jp/csr/index.html

カンボジアからの研修生は現在21名 ワタキューの「心」を持ち帰ってもらいたい

ワタキューセイモア

2009年より、カンボジア労働・職業訓練省やカンボジア大学と協力し、同国からの研修生を受け入れています。日本企業の中で最初の派遣先です。2011年で3年目を迎え、卒業生は35名(1~3期生)を数えます。2011年の受け入れは近畿支店を中心に21名(4期生10名、5期生11名)。今後も国際貢献とともに、ワタキューグループの「心」もカンボジアに持ち帰ってもらえるよう、協力を続けていきます。



カンボジアからの研修生が働く工場



車椅子テニス日本代表 藤本 佳伸 選手

夢にかける選手をサポート 車椅子テニス

ハートウェル

車椅子テニス日本代表 藤本佳伸 選手は、2011年7月に南アフリカで開催された国際大会で優勝したトッププレイヤーです。05年11月から10年3月まで本社契約社員としてハートウェルに勤務され、現在はロンドン・パラリンピック出場を目指して集中してトレーニングされています。藤本選手の夢の実現へ、私たちは今後も応援していきます。



開館式の様子



社長講義の様子

ワタキューグループ研修センター 一心館

ワタキューグループ研修センター「一心館」とは、「ワタキューグループ基本方針」を礎として、創業時の原点に立ち寄り社員の誰もが思いやりの心を持ち、互いに協力し人に誇れる立派な会社に、勤めて良かったと思えるグループにするためたとえ会社や地域が違ってもグループ会社各社それぞれが、そして社員一人一人が心一つにすることを旨とする社員教育の場です。社是「心」のもとに、グループ各社の社員たちとともに感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも接する人材を育成することで、ここから私たちの強固な石垣を築いていきたいと願っています。

社員とともに

働きがいのある
職場を目指して



一人ひとりが 「心」を体現する会社を 目指します

感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも接する——
基本方針にうたわれているこの想いを実践する社員を育てる、
そのための職場環境づくりに取り組んでいます。



研修風景



弊社グループの人材育成拠点 「ワタキューグループ研修センター 一心館」開館

社会へ、仕事へ、グローバル化への順応—— 3つの環境に対応できる人材の育成へ

座学・実践をととした新入社員研修のほか、グループ社員の人材育成拠点の役割も担う

2011年4月、社は「心」のもとに、感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも接するワタキューグループ社員の育成を目指す「ワタキューグループ研修センター 一心館」(京都本部内)が開館しました。

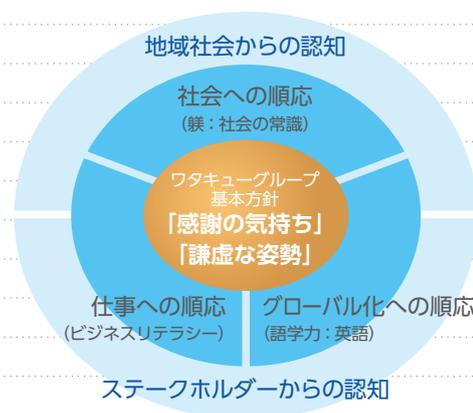
座学と実践を旨とする新入社員研修では、ワタキューグループが求める人材ビジョン(3つの環境に対する順応力)を身につけ、さまざまな状況に対応していける人材を計画的に育成していきます。

このうち、座学研修の拠点となるのが一心館です。新入社員は一心館内の研修室で、ビジネスマナーや外国語、各種業務知識まで、1年間幅広く学びます。

座学と並行して行われる実践研修では、洗濯工場や医療・福祉施設に実際に赴いて、見学や院内請負業務体験のほか、営業同行やボランティア体験も含む豊富な現場研修・実習プログラムが用意されています。

さらに一心館は、新入社員だけでなくワタキューグループ社員向けの各種研修も実践しており、グループ全体の人材育成の場としても機能しています。

● 一心館の人材ビジョン



Message



一心館 第一期生
坂井 良輔

感謝の気持ちと謙虚な姿勢で人と接する喜びを学んで

研修では幅広く学んでいます。午前中は一心館でビジネスマナーなどの座学、午後は実習が中心です。実習では病院内でのベッドメイクや売店での販売、工場研修など現場の業務体験から、取引先工場の見学、福祉施設でのボランティアまでを経験。素晴らしい方々に出会い、感謝の気持ちと謙虚な姿勢を学んで、私自身の人との接し方は全く変わりました。この研修を糧に、どの部署に配属されても、現場の皆さまと一緒に働きたいです。

仕事と仕事以外をバランスよく

快適な職場環境づくり

社是「心」のもと、社員と会社がお互いに信頼しあい、
安心・快適に社員が仕事に取り組める職場環境づくりに努めています。

北九州工場の託児所

育児や介護との両立のために安心して働ける環境を整備しています

ワークライフバランスでは、「仕事」と「仕事以外の生活」との調和が大切です。弊社では、子育てや介護、地域活動などに従事する社員が安心して働ける環境を整え、育児・介護関連制度として確立しています。順次整備している企業内託児所は、小さいお子さまがいる社員からたいへん喜ばれています。



名古屋工場の託児所



城陽工場の託児所

Voice 託児所利用者の声

ハローワークから「託児所付きで働ける」と紹介され、2011年6月から勤務し、娘2人を午前8時20分から午後5時20分まであずかってもらっています。職場に託児所があるので、何かあってもすぐに駆けつけられます。費用も一般的な託児所に比べ低価格で魅力的です。

仕事はまだ慣れなくて大変ですが、皆さんが優しく、楽しく働いています。

(園児：長女 流音(りおん)ちゃん(3歳)、次女 心音(みお)ちゃん(1歳))



九州支社 北九州工場 ^{あららぎ} 蘭 保恵

2011年3月に入社しました。社内託児所は子供と一緒に出勤、帰宅ができるのでとてもよかったです。費用の面でも助かっています。工場内は少し暑いですが、ダイエットだと思えば平気です。将来子供たちが幼稚園に入っても勤め続けたいと思っています。

(園児：長男 一翔(かずと)くん(1歳))



九州支社 北九州工場 梅崎 磨貴

詳しくは…

弊社ホームページのCSRサイトをご覧ください
www.watakyu.co.jp/csr/index.html

育児や介護のための休業や短時間勤務について 対象期間などを制度化

育児休業制度では、社員が育児に専念するため、子供が満1歳となる日まで休業を認め、出産祝い金を支給します。また、育児短時間勤務制度では、子供が満3歳となる日まで勤務時間を短くすることを認めています。

介護休業制度では、社員が家族の介護に専念できるよう、対象となる家族1人につき通算93日まで休業を認めています。介護短時間勤務制度では、介護の対象となる家族1人につき通算93日まで短時間での勤務を認めています。

社員のうち60歳以上の高齢者は10.5% 障がい者は2.4% 積極的な雇用を継続します

高齢者雇用では、定年後65歳まで再雇用できる制度（2013年までに段階的に導入）を設け、2011年の雇用率は10.5%。障がい者雇用については、「障がい者の雇用の促進等に関する法律（障がい者雇用促進法）」で定められた一般民間企業の障がい者雇用率1.8%を2007年に達成し、現在（2011年6月）2.4%となっています。

東京支店は、特別支援学校に対する就労促進協力において「平成21年度東京都教育委員会企業等表彰」を受けました。

事業所では安全衛生パトロールや労務監査を実施 運行前の点検・検査も徹底しています

事業所ごとに選任された安全衛生委員を中心に、安全衛生のパトロールのほか、安全衛生委員会を定期的で開催し、職場の安全衛生の維持向上に努めています。さらに総務人事本部では、労働環境や安全衛生・健康管理に関する事業所の労務監査を実施し改善指導を行っています。

運輸部門では、車両点検やアルコール検知器を使ったドライバーの運行前点検、運行後は日報による報告を行うことで安全意識を高め、定期的にミーティングや講習会も実施しています。

CSR 経営

健全な企業経営を行うために

弊社の事業活動はさまざまな形で社会と関係しており、健全な企業経営を行うためには、お客さま、お取引先、社員をはじめとする数多くのステークホルダーの皆さまから信頼を得る取り組みを積極的に展開することが重要と考えています。

3つのテーマを据えて コーポレートガバナンス体制を充実させています

ワタキューセイモアは現在、コーポレートガバナンスとして、「企業の公正性・透明性の向上」「意思決定プロセスの徹底」「コンプライアンスの徹底」の3つをテーマに取り組みを進めています。

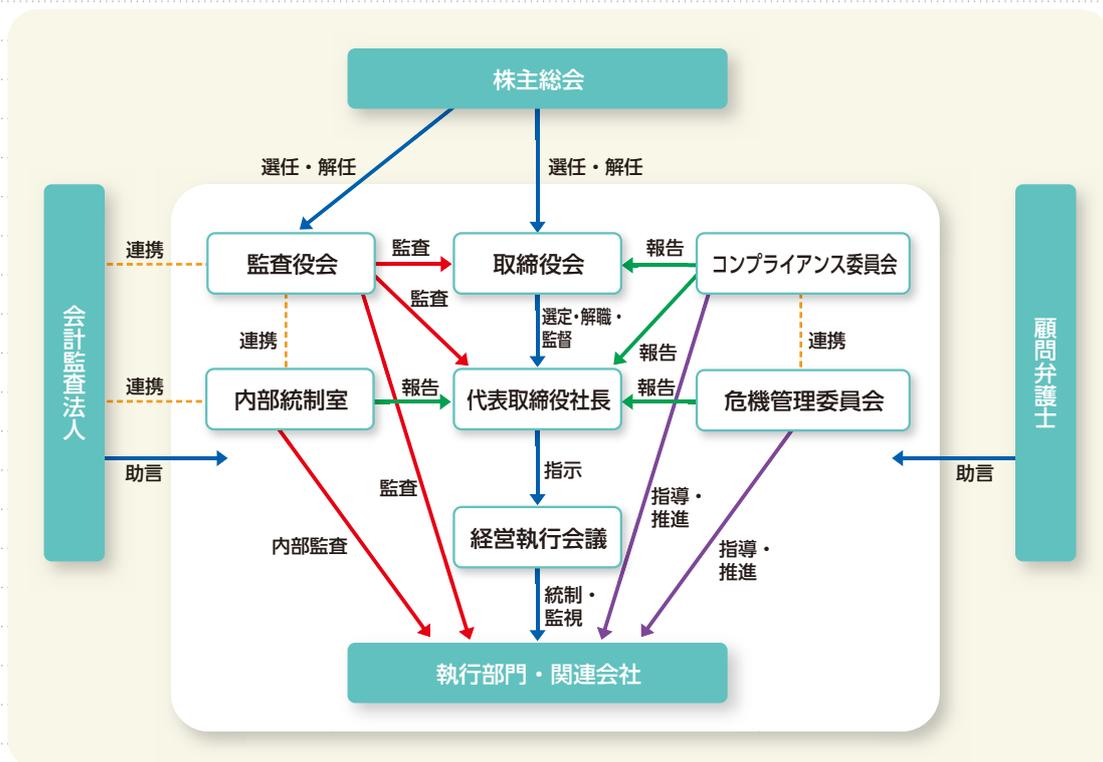
今後も社は「心」の基本方針に則り、ステークホルダーの皆さまから信頼され成長を続けるためにコーポレートガバナンスを充実させていきます。

業務執行については執行役員、 経営監督は取締役が担当、社外からも参画

弊社では、2006年9月に執行役員制度を導入し、業務の執行と経営の監督を明確に分けました。執行役員が業務を遂行、取締役はその監督役、とそれぞれ分担することでガバナンス体制の強化につなげます。

監査は内部監査部門である内部統制室が行い、それと並行する形で外部の会計監査法人も、監査役会や内部統制室と連携しつつ監査の助言をしていきます。この体制に、社外取締役1名と社外監査役2名とを加えています。

●コーポレートガバナンス体制図



詳しくは…

弊社ホームページのCSRサイトをご覧ください
www.watakyu.co.jp/csr/index.html

適正業務がなされているか、 権限を持った内部統制室が監査・調査を実施

弊社では、業務を適正に執行し、さらにはその体制を維持していくために、必要な権限を与えられた内部統制室を設置しています。適正な財務報告・社会法規や社内規定に基づく業務・公正な商慣行の遂行・基本方針の実践・経営方針に沿った業務などが主な監査や調査の対象です。監査・調査の結果は社長に報告。これを受けた社長が自ら改善や是正などの指示を発することで、適正業務の確保を図ります。

危機管理マニュアルやセミナーでリスクマネジメント・啓発を実施 万が一のときは緊急対策本部を招集

弊社では、リスクマネジメントを健全経営のための大切な活動としてとらえています。危機管理委員会が中心となり、危機管理マニュアルの作成やグループ全体を対象とした危機管理セミナーを定期的に開催し、リスクに対する啓発活動を行っています。万が一のときには、設置基準に基づいて緊急対策本部を招集し、社長が指名した本部長を中心に発生したリスクに適切に対応、問題の早期解決を図ります。「発生の予防」と「発生後の対応」の両面から取り組みを進めています。

社員研修などで遵法意識を徹底 重要な問題は委員会で審議

弊社では、法令遵守を推進するために社員研修やマニュアルの配布を行い、遵法意識を教育しています。さらに内部統制システムの稼働による調査や重要な問題を審議する社内コンプライアンス委員会の設置により、遵法意識の徹底を図っています。コンプライアンス委員会は、社外から5名の有識者を招聘して構成されており、審議の結果を取締役に報告し、対策案などを提言する役割を果たします。

内部情報共有システムやTV会議で 情報セキュリティの周知を徹底

弊社では、情報セキュリティに関わる規程書を作成し、全社員がいつでもアクセスできる内部情報共有システムで公開しています。クラウドやリモートアクセス、タブレット端末の利用といった事項に関する規程も追加し、随時更新しています。とくに重要な事項については冊子の配布やTV会議システムの使用などによる社員教育を実施。内容の周知徹底を図っています。タブレット端末については、一元管理することでウイルス感染と情報の漏えい防止、双方の対策を実施しています。

本社機能および各支店・支社・営業所

本社関連

本 社	〒610-0396 京都府綴喜郡井手町大字多賀小字 茶臼塚 12-2
本 部	〒600-8416 京都市下京区烏丸通高辻下ル 薬師前町 707 烏丸シティ・コアビル
	営業本部 (3F) TEL 075-361-4132 FAX 075-361-7523
	生産本部 (3F) TEL 075-361-4137 FAX 075-361-7523
	財務本部 (3F) TEL 075-361-4135 FAX 075-361-7522
	商品統括本部 (3F) TEL 075-361-4134 FAX 075-361-4139
	広報室 (4F) TEL 075-361-7525 FAX 075-361-7539
	内部統制室 (4F) TEL 075-361-5320 FAX 075-361-7539
	研修センター「一心館」(5F) TEL 075-361-4089 FAX 075-344-4300
	総務人事本部 (6F) TEL 075-361-4080 FAX 075-361-9060
	関連会社管理本部 (7F) TEL 075-361-4138 FAX 075-361-7521
	経営企画室 (7F) TEL 075-361-7511 FAX 075-361-3317
	業務本部 (7F) TEL 075-361-7511 FAX 075-361-3317
	新規事業開発室 (7F) TEL 075-361-7511 FAX 075-361-3317
広報室 東京事務所	〒108-6032 東京都港区港南 2 丁目 15-1 品川インターシティ A 棟 32F TEL 03-5460-5371 FAX 03-5460-5372

秋田営業所	〒010-1633 秋田県秋田市新屋島木町 1-69 TEL 018-828-4851 FAX 018-828-4853
郡山営業所	〒963-8024 福島県郡山市朝日 2 丁目 23-6 KINOビル 202 TEL 024-991-7317 FAX 024-991-7336
神奈川営業所	〒252-0146 神奈川県相模原市緑区大山町 1-3 TEL 042-773-3511 FAX 042-773-1108
新潟営業所	〒950-0141 新潟県新潟市江南区亀田工業団地 1 丁目 1-13 TEL 025-381-4312 FAX 025-382-3437
長野営業所	〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村下本郷 4088 TEL 0263-98-2711 FAX 0263-98-3930
山梨営業所	〒405-0041 山梨県山梨市北 1709 TEL 0553-22-5660 FAX 0553-23-1352
静岡営業所	〒410-0813 静岡県沼津市上香貫榎島町 1264-1 TEL 055-933-0470 FAX 055-932-7157
北陸営業所	〒939-0256 富山県射水市広上 2000-27 TEL 0766-51-6260 FAX 0766-51-6234
大阪営業所	〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 2 丁目 10-12 ヴィラ藤 1F TEL 06-6815-7835 FAX 06-6815-9153
神戸営業所	〒651-1313 兵庫県神戸市北区有野中町 1 丁目 20-13 本岡ビルII番館 1F TEL 078-982-2940 FAX 078-982-2990
和歌山営業所	〒640-8269 和歌山県和歌山市小松原通 4 丁目 18 葵ビル TEL 073-423-2454 FAX 073-423-2453
米子営業所	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎 2318 TEL 0859-29-1155 FAX 0859-29-1131
広島営業所	〒734-0014 広島県広島市南区宇品西 2 丁目 6-54 TEL 082-255-6543 FAX 082-255-3947
山口営業所	〒754-0020 山口県山口市小郡平成町 2-6 TEL 083-976-1100 FAX 083-976-0087
高松営業所	〒760-0079 香川県高松市松縄町 34-2 TEL 087-862-5610 FAX 087-862-5617
高知営業所	〒780-0088 高知県高知市北久保 9-23 TEL 088-861-1600 FAX 088-861-1606
北九州営業所	〒805-0058 福岡県北九州市八幡東区前田 1520-10 TEL 093-662-5115 FAX 093-662-5101
大分営業所	〒879-5515 大分県由布市挾間町三船 231 TEL 097-540-7810 FAX 097-540-7801
熊本営業所	〒861-4156 熊本県熊本市富合町田尻 587 TEL 096-358-6442 FAX 096-357-3802
南九州営業所	〒889-1914 宮崎県北諸郡三股町夢池 3734-1 TEL 0986-52-6246 FAX 0986-52-6693
鹿児島営業所	〒892-0871 鹿児島県鹿児島市吉野町 4373-1 TEL 099-243-8872 FAX 099-243-7226

支店・支社

北海道支店	〒047-0198 北海道小樽市新光 5 丁目 13-3 TEL 0134-54-6525 FAX 0134-54-6580
東北支店	〒989-3124 宮城県仙台市青葉区上愛子字上遠野原 9-51 TEL 022-392-2141 FAX 022-392-6662
東京支店	〒343-0851 埼玉県越谷市七左町 3 丁目 192 TEL 048-988-1288 FAX 048-988-5510
名古屋支店	〒489-0979 愛知県瀬戸市坊金町 46 TEL 0561-83-4455 FAX 0561-83-9905
近畿支店	〒610-0396 京都府綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚 12-2 TEL 0774-82-5101 FAX 0774-82-4831
中国支店	〒700-0845 岡山県岡山市南区浜野 3 丁目 17-34 TEL 086-264-6421 FAX 086-264-0213
四国支店	〒793-0003 愛媛県西条市ひうち 18-24 TEL 0897-52-5231 FAX 0897-52-5232
九州支社	〒845-8506 佐賀県小城市小城町 227-2 TEL 0952-72-5111 FAX 0952-73-2220

営業所

函館営業所	〒041-0824 北海道函館市西桔梗町 830-3 TEL 0138-48-1882 FAX 0138-48-1883
八戸営業所	〒039-2243 青森県八戸市松ヶ丘 6-2 TEL 0178-28-8121 FAX 0178-28-8119
盛岡営業所	〒020-0052 岩手県盛岡市中太田泉田 66-11 TEL 019-656-3488 FAX 019-659-0551



本社



本部

リネンサプライ生産拠点ネットワーク

工場

小樽工場 〒047-0198
北海道小樽市新光5丁目13-3

名寄工場 〒096-0015
北海道名寄市西5条南10丁目2-17

旭川工場 〒070-0038
北海道旭川市8条通15丁目左8号

北見工場 〒090-0818
北海道北見市本町5丁目8-18

釧路工場 〒084-0911
北海道釧路市星が浦北4丁目2-6

大滝工場 〒052-0317
北海道伊達市大滝区優徳町81-2

函館工場 〒041-0824
北海道函館市西桔梗町830-3

仙台工場 〒989-3124
宮城県仙台市青葉区上愛子字上遠野原9-51

八戸工場 〒039-2243
青森県八戸市松ヶ丘6-2

秋田工場 〒010-1633
秋田県秋田市新屋島木町1-69

東京工場 〒343-0851
埼玉県越谷市七左町3丁目192

相模原工場 〒252-0146
神奈川県相模原市緑区大山町1-3

新潟工場 〒950-0141
新潟県新潟市江南区亀田工業団地1丁目1-13

長野工場 〒390-1301
長野県東筑摩郡山形村下本郷4088

甲信工場 〒405-0041
山梨県山梨市北1709

静岡工場 〒410-0813
静岡県沼津市上香貫横島町1264-1

名古屋工場 〒489-0979
愛知県瀬戸市坊金町46

北陸工場 〒939-0256
富山県射水市広上2000-27

京都工場 〒610-0396
京都府綴喜郡井手町大字多賀小字茶臼塚12-2

城陽工場 〒610-0116
京都府城陽市奈島フケ37-6

福知山工場 〒620-0851
京都府福知山市字長田2302-10

茨木工場 〒567-0011
大阪府茨木市高田町11-18

和歌山工場 〒641-0004
和歌山県和歌山市和田字上ノ佐1213-1

米子工場 〒683-0845
鳥取県米子市旗ヶ崎2318

福山工場 〒720-0831
広島県福山市草戸町2丁目23-20

岩国工場 〒740-0031
山口県岩国市門前町2丁目33-9

四国工場 〒793-0003
愛媛県西条市ひうち18-24

九州工場 〒845-8506
佐賀県小城市小城町227-2

北九州工場 〒805-0058
福岡県北九州市八幡東区前田1520-10

鳥栖工場 〒841-0074
佐賀県鳥栖市西新町字所熊1422-343

神埼工場 〒849-0124
佐賀県三養基郡上峰町大字堤1984-1

三日月工場 〒845-0035
佐賀県小城市三日月町石木174

唐津工場 〒847-0022
佐賀県唐津市鏡字室ノ前666-1

大分工場 〒879-5515
大分県由布市挾間町三船231

熊本工場 〒861-4156
熊本県熊本市富合町田尻587

南九州工場 〒889-1914
宮崎県北諸県郡三股町蓼池3734-1

鹿児島工場 〒891-0101
鹿児島県鹿児島市五ヶ別府町字宇都ノ口1266

霧島工場 〒899-6603
鹿児島県霧島市牧園町高千穂3730-154



北九州工場

主なグループ企業

日清医療食品株式会社 〒100-6420 東京都千代田区丸の内2-7-3
東京ビルディング 20F
TEL 03-3287-3611 FAX 03-3287-3612

綿久リネン株式会社 〒610-0396 京都府綴喜郡井手町大字多賀小字
茶臼塚12-2
TEL 075-813-3180 FAX 075-813-3181

株式会社ハートウェル 〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港42-4
TEL 043-301-8338 FAX 043-301-7887

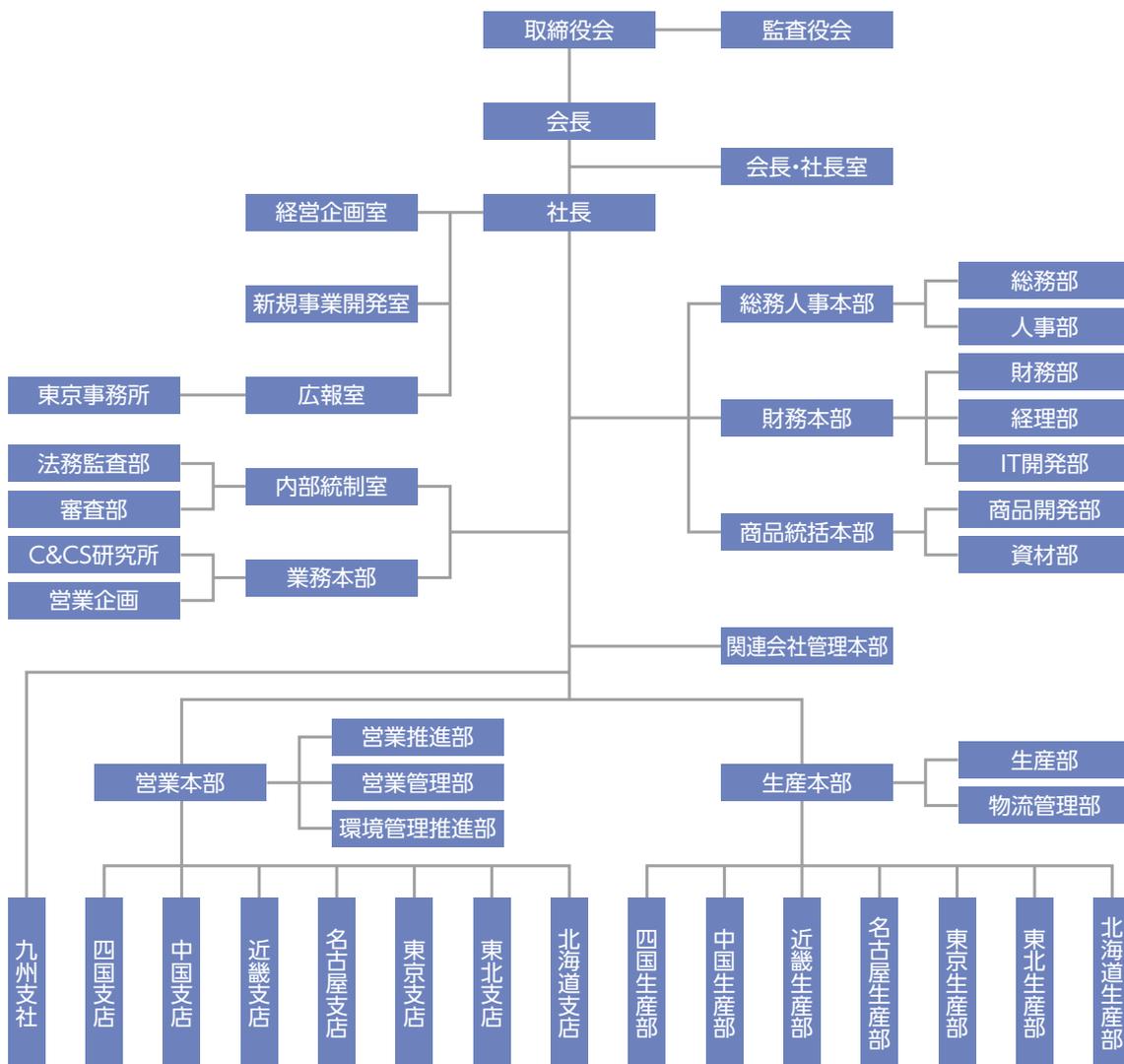
株式会社フロンティア 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラストタワー 14F
TEL 06-6396-8100 FAX 06-6396-8101

株式会社メディカル・プラネット 〒108-6032 東京都港区港南2-15-1
品川インターシティA棟32F
TEL 03-5781-5533 FAX 03-5781-5822

株式会社セイモア 〒600-8416 京都府京都市下京区烏丸通高辻下ル
薬師前町707 烏丸シティ・コアビル7F
TEL 075-354-3577 FAX 075-361-3317

古久根建設株式会社 〒112-8662 東京都文京区音羽1-1-1
TEL 03-5860-4700 FAX 03-5395-5300

沖縄綿久寝具株式会社 〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道1丁目8-5
TEL 098-892-1121 FAX 098-892-3983



企業概要

- 会社名 ワタキューセイモア株式会社
- 創業 1872年10月5日
- 設立 1962年7月17日
- 資本金 4,850万円(単体)
- 社員数 9,176名(単体/2011年6月30日現在)
- 取引銀行 南都銀行/みずほ銀行/三井住友銀行/三菱東京UFJ銀行 他
- 主要取引先 病院/診療所/社会福祉施設/公的機関 等
- 主要仕入先 伊藤忠商事(株)/倉敷紡績(株)/シキボウ(株)/東レ(株)/ユニ・チャーム(株)/ナガイレーベン(株)/パラマウントベッド(株) 他

財務データ



感謝の気持ちと謙虚な姿勢 ワタキューグループの原点を心に、 いま未来へ

2012年、ワタキューグループは140周年を迎えます。1872年の創業から、医療・福祉分野で多様なサービスを展開、現在グループとして社員数73,000名を数えるに至りました。

私たちの事業は「心」がなければできない仕事ばかりです。初代社長の村田清次は人を思いやる心を大切にし、誰に対しても常に腰低く「いつもありがとうございます」と深く頭を下げました。感謝の気持ちと謙虚な姿勢こそ、ワタキューグループの原点なのです。

そこで、創業当時の姿勢を忘れてはならない、そんな思いで13年前、社是を「心」とし、さらにワタキューグループの基本方針を策定しました。

私たちの目指す「ワタキュー人」は、この基本方針を実践し、大きな声で挨拶ができ、常識を持つ社員のことです。すべての社員をワタキュー人として育てていくことを目標に、人づくりを進めています。取り組みの一つが朝礼や会議の始まりに必ず行う、基本方針の唱和。毎日声に出すことで皆がワタキューの心を意識し、それが行動となって、徐々に表れつつあります。

もう一つの取り組みは、2011年4月に開館した「ワタキューグループ研修センター 一心館」です。1年間の研修を通じて、新入社員にワタキュー人としての人間性、外国語力そして現場力を学んでもらう教育拠点です。ここで育った人材が後輩をまた導いて、新たなワタキュー人が次々に生まれていくことを願い、グループ独自の教育システムとして作り上げました。

この人材をもとに医療・福祉の現場を支援するサービス業として、私たちはなによりも「心のサービス」を大事にしたいと考えます。感謝の気持ちと謙虚な姿勢を貫く「良き人」としてお客さまのために一生懸命仕事をさせていただき、そして多くの人々にワタキューグループのファンになっていただくことこそ、未来へと続く唯一の道と信じています。

リネンサプライや給食業務などさまざまな業務をサポートするセイモアシステムは、ワタキューグループならではのトータルなサービスです。先般、古久根建設をグループに迎え、建物の建築施工・改修業務も可能になりました。この総合力に磨きをかけ、オンリーワン企業としてさらなる邁進に努めることこそ、社会に向けて私たちが果たすべき使命と考えています。

2011年11月

代表取締役社長

安道光二



初代社長・村田清次(右)とその母・村田ハルエ(左)のレリーフとともに

 **ワタキューセイモア株式会社**
<http://www.watakyu.co.jp/>

